

(第435号) 2014年(平成26年)1月25日 土曜日

第三種郵便物認可

(2)

この号では、震災復興支援活動について、多くの協会員が手を貸すなど、多くの取り組みが紹介されています。



トネリコ

もう一度「緑」

北海道支部長

眞鍋智紀

(眞鍋庭園苗畠)

日本植木協会会員の皆様
あけましておめでとうござ
います。

本年、全国総会が当プロ
ツク宮城県で開催されます
こと誠に喜ばしく、ブロッ
クを挙げて歓迎いたします
す。又、震災直後から心援
支援を戴いております全国
の仲間に紙面上ではあります
が感謝をしたいと思いま
す。新年を迎えた現在も爪

震災から三年にもなるの
に現場では無数の住居跡の
た。

この度は震い東北・仙台
に御足勞くださいまして誠
にありがとうございました。

震災から三年にもなるの
に現場では無数の住居跡の
た。

田中秀穂

(株)ガーデン二賀地・宮城県)

元気な顔を見ていただけ
きたいと思います。

我々の北海道支部では毎
年支部会員内での緑化樹や情
報交換を定期的に実施して
おり、お互いの技術向上並
びに意識レベルの向上をほ
かっております。面積の広
い北海道は地域での気候差
が大きく他県を観察してい
ます。

昨年は夏頃からメデ
イア等で景気の回復傾
向との声が聞かれ始め
ました。長いトンネル
に入った久しく、とても
も明るいニュースでした。
しかし景気の波は
地方ほど緩やかで、ま
だまだ実感できる事は
ありません。特に建設事業
の一時的な増加の一方で緑
化を軽んじたことも一因に
あります。『自然』が叫ん
でいる今だからこそ再度
『緑』の重要性を広く訴え
ています。

この小さな島国日本には
美しい四季があり北から南
まで豊かな植生があります。
この自然は日本の宝です。
自然の山野を保全し健
やかに治める地域に根ざし
た在来樹種を育成管理する
自然環境整備と、我々の住
む決して広いとは言えない
生活圏を彩り心に安らぎと
癒しそしてきれいな空氣を
与えてくれる都市緑化。こ
の二つの意味をきちんと学
び提案し実現できるような
日々の努力が重要となります。

近年は様々な樹種に改良
が進み、空氣の清浄役だけ
ではない【形】【色彩】【芳

本年、全国総会が当プロ
ツク宮城県で開催されます
こと誠に喜ばしく、ブロッ
クを挙げて歓迎いたします
す。又、震災直後から心援
支援を戴いております全国
の仲間に紙面上ではあります
が感謝をしたいと思いま
す。新年を迎えた現在も爪

震災の努力不足を痛感し
てあります。近年の国内外
の自然災害と甚大な被害の
多さほどの『緑』治山と緑

す。

関東・甲信越ブロック

ブロック総会を開催

一十一月七日神奈川県箱根町で

関東・甲信越ブロック
(ブロック長・安藤貢氏、正会員二百二十三名)は、

十一月七日十三時から神奈

川県箱根町「ホテルおか

だ」においてブロック総会

を開催した。本部

からは宍倉副会

長、植島副会長が

出席した。

総会は、宍倉副

会長と、植島副会

長臨席の元、兵藤

副ブロック長、宍

倉副会長の挨拶、

小川神奈川県支部

長の地元歓迎挨拶

に続いて議事に入

った。

藤貢氏(埼玉県)が退任し、安

相澤裕氏(栃木県)が就任

する。

このほか協会本部報告、

次期研修会開催地として栃

木県で開催する報告などが

あった。

小休止後の記念講演は、

地元神奈川県在住の有小田

寿裕氏が「データの紹介

と題して生産数量調査を提

出するに当たり、多少の手

間をかけること)でデータの

飛躍的な価値が生まれること

を説いて併せて協力要請

を行った。

講演終了後懇親会に移

り、参加者一同は歓談・情

報交換等で親交を深めた。

去る十一月五日(火)に神奈

川県箱根市「ホテルおかだ

にて行われました。関東甲

信越ブロック総会での記念

講演会についてご報告いた

します。

今回は、神奈川県はもち

ろん、全国規模で植木生

産・流通の業界において多

い小田原市周辺の公共事

業や、箱根・伊豆等の別荘

地での開発事業がバブル崩

壊とともに減少・撤退して

いく中、近藤社長が考え、

これから植木業界と自社の

方向性や指針を示す二十一

世紀へのビジョン作りでし

た。これは以下の大きく四

つに分けたテーマから成り

立つことになります。

1、社会に必要とされ、社

会から必要とされる業界で

生きていることを再認識さ

せてくれる素晴らしい言葉

だと私自身も感じさせられ

ました。

エイコス代表 大畠寿裕

氏からは「生産数量調査ア

ン」の照会事例と付加価値

について」という演題でさ

いました。

エイコス代表 大畠寿裕

日本列島植木植物園

ダイオウマツ(大王松)

Pinus palustris



*マツ科マツ属の常緑針葉高木

*ダイオウショウともいう

*北米東南部原産で樹高は40m位になるが、日本では通常10mくらいにしかならない

*マツ属の樹木は、短枝という特殊な短い枝に何本かの針葉が束生するが本種は3本束生し、葉の長さは30~40cmでマツ属の中では最も長い

*花期は4月頃、松かさは15~25cmと大形である

*長い葉と名前に恥じぬ堂々とした樹姿が最大の特徴。枝ものとして正月飾りに使われることも多い

文章・画像協力:マツグループ

ナショナルプランツコレクション*

*世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てることを目的としたコレクションです。



労する。

た。

鹿児島県鹿屋・大隅の产地は消費地に一番遠い条件が悪い地域です。
しかし、気候・農場・散水施設など植木产地の中で

主催して約二週間前から打ち合わせして、業者・個人

会が二時間で設定しました。

た。

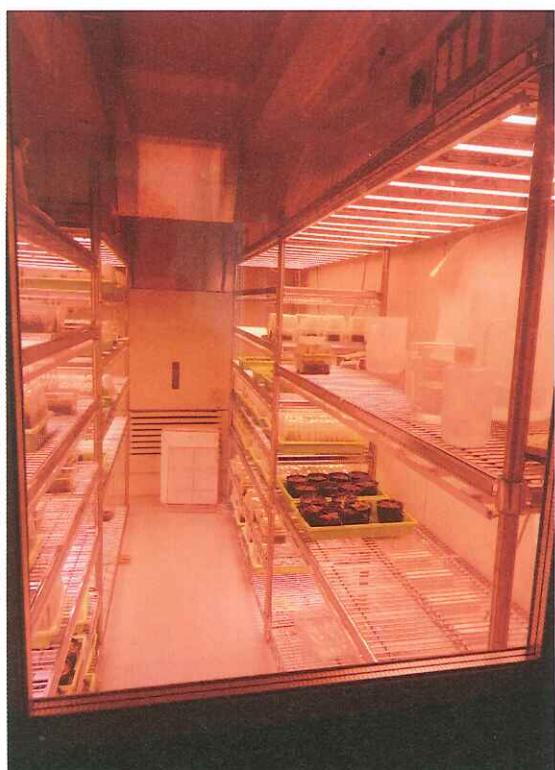
部会だより

「最先端の樹木増殖技術を見る」勉強会

コンテナ部会 松村 幹了
(有)大坂林業・北海道)

十月二日に「最先端の樹木増殖技術を見る」と題した勉強会を都内二か所で開催した。会員十五名が参加した。

日本製紙株ではアグリ推進室の杉田氏、河岡氏の案内で独自の「光独立栄養培養技術」の説明とラボの見学を行った。この技術は、光・炭酸ガス・湿度を調整して、植物が光合成能力を最大限引き出す環境のもと容器内挿し木を行うことで発根促進につなげるという技術です。このような技術開発の背景には、製紙原料としての海外で行っている植林用樹木の発根促進があるとのことでした。発根の難しい温帯性ユーカリをこの技術も用い発根率を高めることで樹木開発で世界トップクラスの技術と実績を有するとのことであった。



フォトグリーン培養室

日本製紙株ではアグリ推進室の杉田氏、河岡氏の案内で独自の「光独立栄養培養技術」の説明とラボの見学を行った。この技術は、光・炭酸ガス・湿度を調整して、植物が光合成能力を最大限引き出す環境のもと容器内挿し木を行うことで発根促進につなげるという技術です。このような技術開発の背景には、製紙原料としての海外で行っている植林用樹木の発根促進があるとのことでした。発根の難しい温帯性ユーカリをこの技術も用い発根率を高めることで樹木開発で世界トップクラスの技術と実績を有するとのことであつた。

用化している方法も一考に値する感じた勉強会でした。
委託増殖など茶苗では実用化するのでは、とも感じました。

これら技術の応用として園芸用樹木・茶・果樹など幅広く増殖を行っている。例として「茶セル苗」は1.高品質な苗の安定供給、2.植え付け時まで元気な苗(セル苗)、3.栽培労力の低減、4.早期成長といったメリットが支持され、生産が増えているとのことであった。さらに新品种の検索、植え付け専用機の開発などを単にセル苗の販売だけにこだまらないサービスの提供を心掛けているとのことであった。(公財)日本花の会では、西山氏、田崎氏の案内でサクラを中心、「樹木の組織培養技術」の説明と日本最古といわれるコマツビルの屋上庭園の見学を行った。まず、室内で結城農場での画像を見ながら、組織培養技術の概要を説明いただき、この形が見えるのは、この勉強会が最後と聞きました。また、改装後の庭園を訪れた。

日本花の会では、西山氏、田崎氏の案内でサクラを中心、「樹木の組織培養技術」の説明と日本最古といわれるコマツビルの屋上庭園の見学を行った。まず、室内で結城農場での画像を見ながら、組織培養技術の概要を説明いただき、この形が見えるのは、この勉強会が最後と聞きました。また、改装後の庭園を訪れた。



フォトグリーンによるソメイヨシノ



コマツビル屋上庭園

部会だより

青年部活動を振り返って

青年部会 北海道・東北ブロック 田中 穂光
(株)ガーデン二賀地・宮城県)

新樹種部会

ハナユズ *Citrus hanayu*



*ミカン科、常緑広葉樹、樹高2.0~3.0m位。
*中国原産。東北地方南部以南で栽培が可能。
*ユズに比べて結果年齢が早く豊産性で、隔年結果(果実がたくさん着いた次の年にはわずかな果実しか着かないこと)することが少ない特徴を持っている。
*果実の日持ちが良いので「常柚(トコユ)」と呼ばれ、鉢植えなど観賞用に優れている。

協会カレンダー Trees&Shrubs2014 1~2月号掲載

平成二十六年二月四日に開催されます、青年部会通常総会をもって四年間の全国幹事としての役目が終わるとしています。今回は北海道・東北ブロックの当番での開催になりますが、開催にこぎつけるのに様々なことがあります。

四年前、全国幹事という役を仰せつかりました。当ブロックは人数が少なく年齢的に若い方は全て役を全うした後になつておりました。そこで、青年部活動を十分に行つていません私にも全国幹事という役が回つてきました。

年に六回開催される会議は、非常に内容が濃く、全国幹事会の中では総務委員会の一員として活動をさせたいと思つた次第です。さて、今回は最先端の樹木増殖技術を見たわけですが、訪問先選定にあたっては実験レベルではなく実用レベルにあるものを念頭に置きました。質疑応答の中で樹木の増殖を続けるうえで問題点は、大きな会社も私たち一生产者も同じ悩みがあるのだなあと実感しました。また、大小が補完しあう形でこれら問題が解消できるのでは、とも感じました。

北海道・東北ブロックでの開催となる予定でした。その準備をする為、ホテルの見積りを取つて、矢先に東日本大震災が発生。仙台で七時に終了といった内容で会議の仕組みとか、議案にあがる内容等最初の一年はよく判らないまま、ただ出席していただけというのが、私の感想です。しかししながら、全国研修会の担当を引き受け下さり、台湾に決まる過程など、会議の面白さを知った年でもありました。その後の全国幹事と開催地が、台湾に決まる過程など、会議の面白さを知つて会を重ねるごとに、全国幹事として非常に大切な出会いが広がりました。これは私にとって非常に大切な出会いとなつております。

二年目からは、会議の仕組みも多少は要領を得ることができるようになりました。全国幹事として二度目の参加となる青年部会通常会の一員として活動をさせられたようやくこの時を迎道にて開催される運びとなりますが、北海道・東北ブロック担当の総会が、北海道にて開催され、昨年は、中止となりました。九州では大変助かりました。九州出席できない状況でしたので、新幹線の開通が間に合わず、東京での会議にも出席できず、熊本にて総会が開催され、昨年は、中止となりました。ようやく2年遅くなりましたが、北海道・東北ブロック担当の総会が、北海道にて開催される運びとなりました。皆さんに支えられてようやくこの時を迎

度の総会開催地は、北海道・東北ブロックでの開催となりました。会議は午前中に集まり、終了は夕方七時に終了といった内容で会議の仕組みとか、議案にあがる内容等最初の一年はよく判らないまま、ただ出席していただけというのが一名と、本来の青年部の規定年齢四十歳を超える者が過半数を超える事態となりました。その後の全国幹事と開催地が、台湾に決まる過程など、会議の面白さを知つて会を重ねるごとに、全国幹事として非常に大切な出会いが広がりました。これは私にとって非常に大切な出会いとなつております。

北海道・東北ブロックでの開催となります。今年四十三歳になるものが三名、四十二歳になるものが一名と、本来の青年部の規定年齢四十歳を超える者が過半数を超える事態となりました。その後の全国幹事と開催地が、台湾に決まる過程など、会議の面白さを知つて会を重ねるごとに、全国幹事として非常に大切な出会いが広がりました。これは私にとって非常に大切な出会いとなつております。

えられることが大変感謝しております。

青年部員は、現在七名しかいません。しかも私を含め今年四十三歳になるものが三名、四十二歳になるものが一名と、本来の青年部の規定年齢四十歳を超える者が過半数を超える事態となりました。その後の全国幹事と開催地が、台湾に決まる過程など、会議の面白さを知つて会を重ねるごとに、全国幹事として非常に大切な出会いが広がりました。これは私にとって非常に大切な出会いとなつております。

**これは
プラタナスグンバイ被害!**

発生初期に樹幹注入

●薬液の飛散がなく安心して使用できます
●薬剤が樹全体に浸透し、残効性に優れます
●意外と経済的です(50倍液をボトルへ充填)
※250倍で散布も可能です

**殺虫剤 普通物・魚毒A類
マツグリーン[®]液剤2**

販売元 株式会社ニッソーグリーン

TEL.03-5816-4351

住化グリーン株式会社

TEL.03-3523-8282

